



9月1日は、

防災の日



もしもに
そなえよう



もしもを
かんがえよう

～9月1日は防災の日！日ごろの対策を見直しましょう～

9月1日は防災の日

日本では、毎年9月1日に「防災の日」が設けられており、防災の日を含む1週間は「防災週間」としてしています。9月1日という日付は、1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災に由来しているそうです。東日本大震災が起こる以前においては、日本の災害史上で最大級の被害をもたらした震災でした。

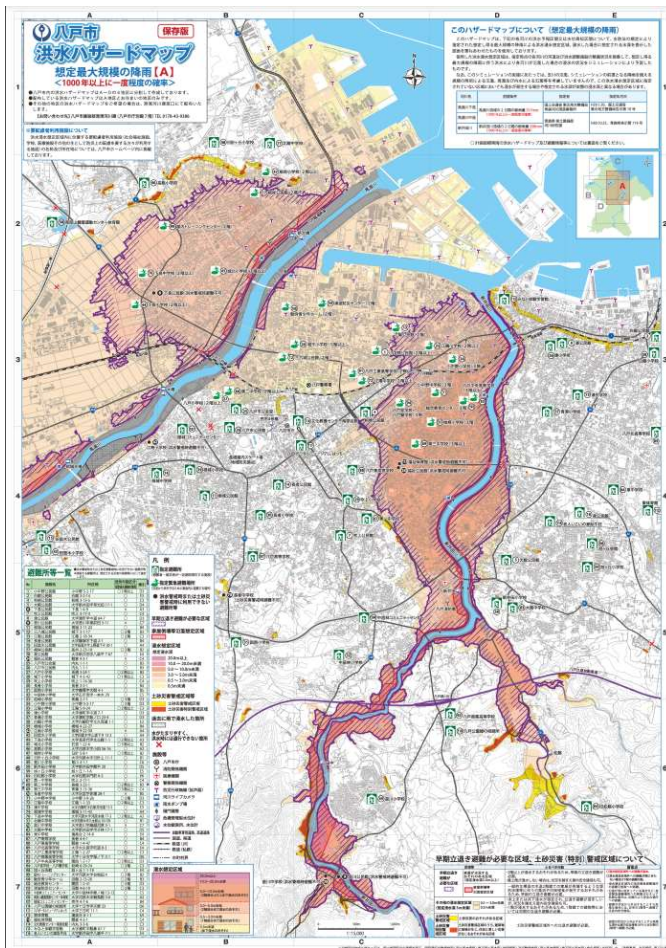
防災の日って何をするの？

防災の日には台風、豪雨、洪水、地震、津波等の災害についての認識や理解を深め、それらの災害に対処する心構えと備えをするための日です。全国各地で災害を想定した防災訓練や防災意識を高める防災イベントが行われています。また、自分の家や職場にある災害備蓄品の保存期限をチェックしたり見直す日でもあります。



災害が起こったときどこに避難する？

いざという時、頭が混乱して冷静な判断が難しくなる状況も！
平常時に自宅や職場のある自治体が発行しているハザードマップ
と避難所をしっかりと確認し、備えましょう。



八戸市のホームページでも
ハザードマップの確認ができます。
津波や洪水、それぞれのハザードマップが
ありますので、確認しておきましょう！



← 八戸市(馬淵川下流・新井田川)の洪水ハザードマップ



防災計画や備蓄品を見直そう！

まず、自分の家や職場が安全なのかを見渡してみましよう。地震が起こった時、家具が倒れてこないか、きちんと固定されているか、確認しておきましょう。特に大きな家具やテレビ・モニターなどは転倒しやすいので安全に設置しましょう。自分達で出来る限りの備えをすること。それがいざとなった時に自分や家族、職場の仲間を守る大きな力になります。非常食・水・トイレ用品などの備蓄を最低3日間、出来れば7日間備えておくと良いでしょう。

食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例(人数分用意しましょう)

- 飲料水 3日分(1人1日3リットルが目安)
- 非常食 3日分の食料として、ご飯(炊かなくても水やお湯で出来るアルファ米が便利)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- トイレットペーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく・カセットコンロ など

これからの時期は風水害に注意！

梅雨や台風の時期は大雨や長雨などによる災害が発生するシーズンです。特に9月は台風シーズンのため、注意が必要です！

災害対策基本法が改正され、今年の5月から避難情報が新しくなっています。避難について確認をしておきましょう。

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	さんきゆうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

令和3年5月20日から  
警戒レベル4  
**避難指示**で必ず避難  
避難勧告は廃止です

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は  
**警戒レベル3高齢者避難**で危険な場所から  
避難しましょう

避難勧告は廃止されています。これからは  
**警戒レベル4避難指示**で、危険な場所から  
全員避難をしましょう

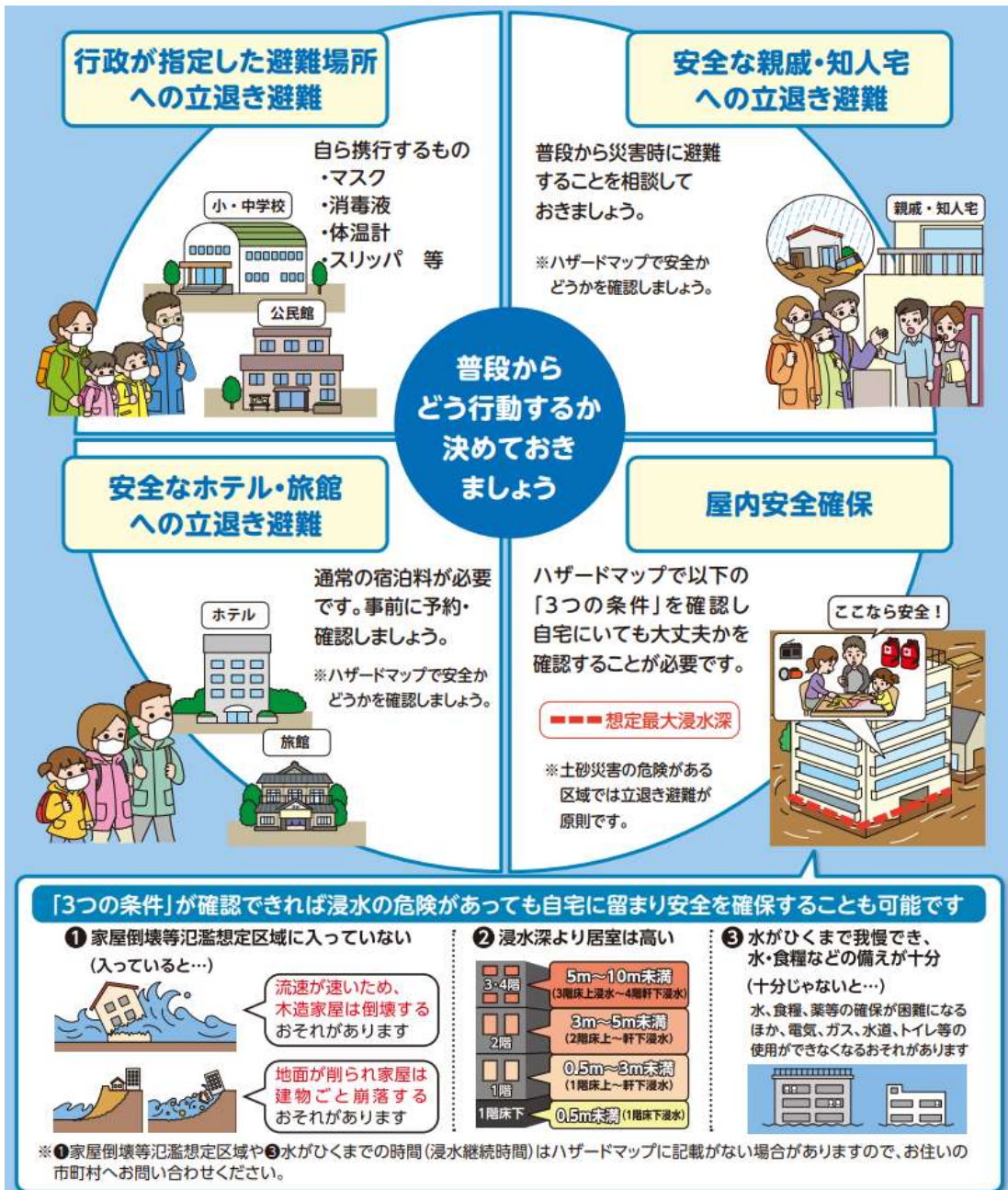
警戒レベル5はすでに安全な非難が出来ず  
命が危険な状況です。**警戒レベル5緊急安全  
確保の発令を待ってはいけません！**

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

# これからの時期は風水害に注意！（2）



## 避難って何をすればいいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。避難とは「難」を「避」けること。左記の4つの行動があります。

また、豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です！やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないように周囲の状況等を十分に確認するようにしましょう。



# まとめ

1年に1日、防災の日にきちんと防災について考え、見直すことは災害大国の日本にとって大切なことです。「もし、今、災害が起こったらどうしよう」そう想像してみることから始めましょう。

# 次回

2022年9月22日(木)

18:30~予定

※参加者がそろい次第開始となります  
よろしくお願ひします

